



# しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

## ふゆ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2015年版]

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしや	ないよう
えほん	<p>「トントンをまきましょう」</p>  <p>あまん きみこ 作 鎌田 暢子 絵 ひさかたチャイルド</p>	<p>ゆきがふってきたゆうがた、あわててお母さんが「あまざけ」をたくさん作りはじめました。すると、知らない子どもたちがつぎからつぎへとおうちへやってきました。ほら、まただれかがげんかんのドアをトントントン…。</p>
えほん	<p>「そうちゃんはおこってるんだもん」</p>  <p>筒井 頼子 文 渡辺 洋二 絵 福音館書店</p>	<p>いもうとのなっちゃんがおとうさんと、たのしそうにあそんでいます。「いつだってなっちゃんばかり！」そんなふたりにおこったそうちゃんは、テーブルの下にもぐってしまいました。おとうさんとなっちゃんがこえをかけますが…。</p>
えほん	<p>「てぶくろがいっぱい」</p>  <p>フローレンス・スロポドキン 文 ルイス・スロポドキン 絵 三原 泉 訳 偕成社</p>	<p>てぶくろをかたほうなくしてしまったふたごのもとに、つぎつぎとおとしもののでぶくろがとどけられます。ふたりのいえには、てぶくろがいっぱいあつまりました。いったい、どうしたらいいのでしょうか。</p>
えほん	<p>「さるのせんせいとへびのかんごふさん」</p>  <p>穂高 順也 ぶん 荒井 良二 え ビリケン出版</p>	<p>やさしいおもしろい先生のサルとせんせいには、なににでもへんしんをしてしんさつを手つだってくれる、ころづよいへびのかんごふさんがいます。ある日、はなづまりのゾウさんがきて、せんせいにしんさつをおねがいますが、さてけっかは？</p>
えほん	<p>「おいしいほしがき」</p>  <p>おばあちゃんとつくったよ！ 細川 剛 写真 宇部 京子 文 ひさかたチャイルド</p>	<p>そのままではたべられないしぶいかきを、あまくておいしいほしがきにかえるやりかたは、むかしからのちえがたくさんつまっています。いわてけんのほしがきづくりを、しゃしんでしょうかいしています。</p>

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしや	ないよう
としよ	<p>「森のせんたくやさんあなぐまモンタン」</p>  <p>茂市 久美子 作 中村 悦子 絵 学研</p>	<p>森のせんたくやさんモンタンのおみせのそばには、大きなサイカチの木があります。その木のみでつくったせんざいであったせんたくものは、はだにやさしく、森のかおりがします。さて、どんなおきやくさんがくるのでしょうか。</p>
としよ	<p>「ていでん★ちゅういほう」</p>  <p>いとう みく 作 細川 貂々 絵 文研出版</p>	<p>かみなりのこわい音がゴロゴロ！バリバリ！とでかくひびいて、でんきがきえました。いつもいぼっているおねえちゃんなのに、ぜんぜんたよりになりません。ていでんのおかげで、かいちゅうでんとうをもって立ちむかう、小さなぼうけんものがたりです。</p>
としよ	<p>「ゆきの中のふしぎなできごと」</p>  <p>ぼくはめいたんてい(6) マージョリー・W.シャーマット ぶん マーク・シーモント え 光吉 夏弥 やく 大日本図書</p>	<p>めいたんていとしてみんながみとめるネートは、9さいの男の子。おともだちのロザモンドがネートにくれるはずだったたんじょう日プレゼントが、きてしまいました。さがそうとしたネートに、ロザモンドはどうしてもプレゼントのなかみをおしえてくれなくて…。</p>
としよ	<p>「とっておきの詩」</p>  <p>村上 しいこ 作 市居 みか 絵 PHP研究所</p>	<p>冬休みに「詩」(し)をかいてくるしゅくだいを、ずっとかんがえてたけど、ひとつもできなかった。ほんまは、きょうひとつできたけど、ええことないいわれてボツや。「詩」をつくるってむずかしい。けれど、とてもすてきなことがおこりました。</p>
としよ	<p>「おはなしきょうしつ」</p>  <p>さいとう しのぶ 作・絵 PHP研究所</p>	<p>きょうしつのおちこちにあるものたちが、とってもたのしくおはなしをしています。ふでばこ、ランドセル、おりがみ、ぞうきん…。くずっとおもしろくて、なんだかあたたかいきもちになれる、おはなしがいっぱいです。</p>